

令和8年度 第4回まちづくりふれあい懇談会記録書

- 1 日 時 令和8年8月5日（水）午後6時30分～8時18分（108分）
- 2 場 所 西コミュニティセンター 大集会室
- 3 出席者 一般出席者 15人
網走市出席者 10人（市長、教育長、
企画総務部長、建設港湾部長、
市民環境部長、観光商工部長、学校教育部長、
学校教育課参事、企画調整課長、広報広聴係長）
町連等出席者 4人（会長、副会長、理事、社会福祉協議会職員）
計 29人
- 4 議事進行 理事
- 5 進行記録
18:30 開会
18:30 市長あいさつ
18:32 町連副会長あいさつ
18:35 テーマ(1)小中学校の適正規模・適正配置の検討について
19:40 テーマ(2)太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する
ガイドラインの策定について
19:46 テーマ(3)どこバスについて
19:55 その他
20:16 市長あいさつ
20:18 閉会

【テーマ（１）小中学校の適正規模・適正配置の検討について】

▼参加者

まず今の学校配置のままで良いとは思っていないが、2月の全体会議で「様々な意見に耳を傾けて、大勢の人がやむを得ないといえる内容にまとめてほしい」と発言した。

その上で気になる点をお聞きしたい。

学校再編の基本的な考え方が昨年12月に議会に出されたが、市民公開されたのが5月7日であり、なぜこの日まで明らかにならなかったか教えていただきたい。

また、5月29日に意見を聞く会を行うことで、募集周知が5月15日に出た。

西小、中央小を対象としていたが、学校関係者は聞いていなかったようで、ホームページを見た人でないとわからなかった。

計画の中に「行政が一方的に決めるものではない」「地域の関係者の協力が重要」とあるが、十分な協議時間の確保、積極的な情報周知、という点で、この間の周知が主旨に合致しているか疑問。

初めの段階で、なぜこういうスタートになったのかと姿勢が問われるもの。

100%みんなが納得する結論を出すのは非常に難しいと思っているが、最大限、丁寧な対応と説明が必要ではないか。

民主的な教育行政を進めるために、様々な経験者や一般の方をメンバーとして議論することは承知しているが、この問題が教育委員会委員の会議で話し合われたのは、昨年12月の1回だけで、この間、令和6年7月から今年にかけて、過去にあった教育委員会会議の議事録がホームページには掲載されていないが、こうした姿勢でいいのか。

また、会議で12月1日に基本計画は了承されているが、会議に4分しかかかっていないことや、非公開の会議があるのはなぜか。

教育委員会の予算審議も非公開になっている。

（学校教育部長）

周知について、期間が短かったというご指摘は受けているが、この会はホームページ周知だけではなく、保護者宛配信アプリのすぐーるで配信したほか、子育て支援課と連携し、未就学児の保護者にも周知した。

教育委員会から直接保護者に配信しており、学校側が聞いているかは未確認。

	周知については、3週間程度期間をとるほか、折込等でも周知することとしている。 昨年12月の計画策定後、なぜ5月公開となったかについては、その後、PTAや学校運営協議会での説明をおこない、その上で議会への説明等もあったため5月になったもので、引き伸ばしていたものではない。 教育委員会での協議について、12月に承認されたということは間違いはないが、それ以前に1年以上をかけて協議をしてまとめてきた経過であり、昨年12月に初めて議論したということではない。 会議非公開については、議会への説明の関係で非公開としているもの。予算についても、教育委員会で承認を得て議会提案をするので、その関係で非公開となっている。
▼参加者	説明通り受け止めるとすれば、少なくとも西小・中央小では、教育委員会は話を下ろしていたが、学校側が保護者に伝えられていなかった。 未就学児の保護者への対応も含めて市はいろいろな手段で伝える努力はした。 ということではないか。
(学校教育部長)	色々な手段で伝えたと認識している。
▼参加者	自分は児童生徒の保護者でないので、できるかわからないが、学校側に今回の話を伝えさせてもらう。 議会への説明も含め、色々なことを優先したため、公開が遅れたように聞こえるが、そうした理解で良いか。
(学校教育部長)	1月から3月にかけて学校運営協議会等で説明し、4月は空いてしまったが、5月に公開したということ。
▼参加者	西小からは聞いていないと話を受けている。 市は伝えたという認識か。
(学校教育部長)	第二中学校で開催した運営協議会に学校長やPTA役員も入っており、その中で議論をした。

	参加した役員が他のPTAに伝えたかはわからないので、改めて意見を聞く会を開催したもの。
▼参加者	教育委員会の会議では、12月の1回開催だけでなく、原案があり、その後、数回やり取りがあり、修正を経て最終案になったという理解で良いか。
(学校教育部長)	その通り。
▼参加者	2月28日の全体会議で「色々な声を聞いてもらいたい」と発言し、教育長から「そうした声に耳を傾け、しっかり進めたい」と答弁を受けたが、そのときには基本的な考え方が決まっている等の話はなかった。 スケジュールの問題なのかもしれないが、2月の段階で「基本的な考え方を整理し、今後、色々なことをやっている」旨の説明があつてしかるべきだと思う。 こちらとしては、ちゃんと言ってくれなかったと感じているし、進め方として大丈夫なのかと非常に疑問。 また、西小は1952年に開校し、今年で74年目。 市からの例示の3案はどれも同じ西小統廃合となっており、地域で出された声を全てやれとは言わないが、もっと時間をかけてじっくりやってほしいという点で、配慮がなぜされなかったか。 地域で受け止める方からすれば、しっかり考えてくれていると思えるものなのかと感じる。
(学校教育部長)	全体会議の中でやり取りはあったが、基本的考え方を隠していたものではなく、説明が不足していたものと思っている。 様々な意見を、というお話もさせていただいていたが、意見を聞く会で出された意見は検討協議会の委員に伝えている。 西小と中央小学校については、3案で示しているが、決定事項ではなく、検討するもの。 ただ、西小は老朽化しており、早い段階で長寿命化改修をした方が良いということもあるため、大事に至らないうちに早い段階で統合した方がいいのではという考えを示したもの。
▼参加者	7月28日の検討協議会の会場が、7月24日の午前9時半の時点でホームページで会場未定となっていた。 隠している、非公開としたい、と思われる要因に感じる。

	会場未定についての回答は不要だが、今後の開催について、ホームページ以外でも周知するなど、検討いただきたい。
(学校教育部長)	隠しているとか、来て欲しくないといった意図はなく、更新の失念によるもの。今後は、ホームページのほか、SNSなどその他の媒体でも周知する。
▼ 参加者	西小の校区には西コミセンがあり、ほぼ毎日、子供が遊びに来る。これは放課後メモリー事業として、子どもが無料で使え、去年は1,000人を超える子どもの利用者があった。 学校再編の3案で決まったわけじゃないということは理解したが、一部の地域住民は不安がっている。 地域コミュニティの維持発展には学校の存在は欠かせないものと感じているが、個人としては子供が減ってる中で小中学校の統廃合はやむを得ないものと思っている。 教育だけでなく、まち全体の問題として、西小学校がなくなると仮定したときに、大曲新町地区で地域コミュニティの維持発展をどうしていくか、市長のビジョンをお聞かせ願いたい。
(市長)	郊外地区でも同様の議論があり、こうしたことも含めて協議会の議論の中で決めていかなければならないと思っている。 学校が大きな核であることは自分も共感するところ。 一方で去年の出生数が140名の中で、学校教育のあり方をしっかり議論した中で決めていかなければならず、その2つをどうクリアしていくかを考えなければならぬと考えている。 コミュニティのあり方はどういう展開をしていくかの議論も必要だが、今は、子供たちが減ったときが基本にあり、そこから各学校のあり方を議論されるべき話であり、教育委員会が向こう10年のスケジュールでさまざまな提案をして、議論をしているもの。 皆さんの意見を聞きながら、子供が減っていく中で教育をどうあるべきか、コミュニティをどうあるべきか、同時並行的に議論された上で、学校再編の話がされるものと思っている。 コミュニティは本当に大切なものと思っているので、そこを踏まえて議論をいただければと思う。

▼参加者

それでは答えになってないと思う。

子供が減り統廃合をして、地域の核である学校がなくなった場合、教育のあり方ではなく、地域コミュニティの維持発展をどうするかという質問。

例えば、新年度予算で地域食堂が出ており、まだ制度設計ができていないという話も聞くが、例えばそういったものの活用などが示されるとありがたかった。

地域食堂については別の機会で改めてお聞きしたい。

次に、西小学校と中央小学校について耐震化を早く解消した方が良いと話があったが、健全度の指数が西小学校が40で、網走小学校も40と同じであり、なぜ西小学校が先なのかという話があった。

基本的な考え方の中で、耐震安全性の項目があり、網走小学校は9となっているが、診断は済んでいるが補強は済んでいないということでもいいのか。

一方、西小学校では旧診断基準において診断は進んでいる、補強も進んでいる、という捉え方でいいのか。

(学校教育部長)

基本的には耐震に関しては問題ないという考え。

網走小学校も健全度は同じだが、学校ごとに改修計画、改修年度を設けており、その中で西小学校が一番早い改修年度となっている。

統合については、同じ第二中学校の校区で小学校が2つあるということで、案を出したもの。

▼参加者

網走小学校の耐震性の補強は済んでいないということか。

(学校教育部長)

補強はしなくても大丈夫ということ。西小学校は補強をしないといけなかったので、補強工事をしたもの。

▼参加者

検討協議会で、統廃合は決まったものではなく、これから議論するもの、と話があった。

西小学校と中央小学校に絞った議論はいつ行う予定か。

(学校教育部長)

6つのテーマを課題として抽出し、3つのテーマで議論したところ。

次回、残り3つのテーマで議論し、それ以降、具体的にどういう案を考えられるか示し、西小学校と中央小学校の話を含めて議論をする予定。

▼参加者

具体的にいつのタイミングか。

検討協議会で、西小学校と中央小学校の具体的な議論をすべきと話が出た。

2028年の話と2035年の話が検討協議会で一緒になってしまっている。

自分としては検討協議会では2035年のことを話す印象で、検討協議会のワークショップで議論のタイミングについて話が出たが、明確な回答はなかった。

基本計画案を来年度中作るということであれば、西小学校と中央小学校の統廃合について是か否かをやらないと自分としては話が進んでしまうと思っている。

地域の意見を踏まえながら考えていきたいとのことだが、検討協議会でも議論のテーブルに上がらないのでは、地域住民や保護者の意見を踏まえての議論の時間が足りないと思う。

また、保護者も何が何でも反対って話ではないと思う。

何回目の検討協議会で、西小学校と中央小学校の議論をするのか、またどういう進め方をするのか、わかっていれば教えてほしい。

(学校教育部長)

3回目は残り3つのテーマで議論をする予定であり、4回目以降で具体的な案を示しながら議論をする予定。

先に議論をすべきとの意見は受けているが、そうすると統廃合ありきの形になってしまうので、教育委員会としてはお話しした形で進めたい。

2028年の話も決まったものではないので、全てを含めて考えていきたいが、早く進めるべきとの話も出ているので、そうした意見も含めて進め方は考えていきたい。

▼参加者

今日の質疑を検討協議会の委員に伝えてほしい。

最後に、検討協議会で「市長がこの場にいないのはなぜか」と委員から質問があった。

教育部局の話なのでいないということはわかるが、市長から声を聞くことはまちづくりという点で大事だと思っている。

なぜ市長が出席していないかを教えてほしい。

(学校教育部長)

質問の件は、検討協議会で委員からお話をいただいたが、学校設置は行政部局から独立した教育委員会で決める話であり、教育長から諮問をしたもの。

質問のあった委員にもその旨回答をしている。

▼参加者

自分としては、教育の話だけでなく、将来のまちづくりビジョンの話と思っており、そうした視点からも市長から話をもらえれば住民の不安も払拭されると思い、質問した。

美幌町の小中一貫義務教育学校設置の議論は、最初に学校の議論ではなく、子どもが減っている中でまちをどうするか、教育をどう展開していくか、そのためにアンケートを行い、ビジョンをつくり、基本方針を作る、という流れ。

学校の教育再編は、将来のまちづくりの問題と捉えるものと思っている。

▼参加者

教育委員会の会議記録が、令和7年と令和8年にホームページに公開されていない。

丁寧に発信し、説明するとしながら、この対応はいかがか。なぜこうした対応となったか。

西小学校、中央小学校の早い段階の議論について、事務局の教育委員会が主導するのは当然のことで、ただ議論し、結果、限られた期間で閉校・統合となることは避けてほしい。教育委員会で手綱をにぎって、議論の方向性やスケジュールを決めて進めていただきたい。

また、今日の資料で「意見を聞く会で出された意見は協議会でメモを出す」となっているが「一般の方の声を反映させる」などと書けないものか。

受ける人がどう捉えるかを考え、丁寧な扱いをするべき。

人口統計で2025年の転出超過率が、網走が全国23位だった。今回の学校の話で、網走に住みづらい、転出の流れが加速されることも念頭に考えてほしい。

(学校教育部長)

相当期間の会議録がホームページ掲載できてなかった点については事実。記録を作った後で掲載を失念していたもので、チェックができてなかったことは反省すべき点と考えている。

会議の教育委員会の事務局機能についてはご意見のとおりで、しっかり進めていきたい。

2028年の話は決定事項でないので、短い期間での閉校・統廃合とならないよう、合意形成が図られた際には、統廃合の期間は十分に設ける。

課題取りまとめの際に出た地域の声も、委員に示したい。

【テーマ（２）太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する
ガイドラインの策定について】

（質問意見なし）

【テーマ（３）どこバスについて】

（質問意見なし）

【その他】

▼参加者

まちづくりふれあい懇談会はどこが主催か。

（企画総務部長）

市と町内会連合会の共催である。

▼参加者

司会の方を批判するわけではないが、市長と直接議論する機会
はなかなかない。

「終了時間の関係で次の議題に」という進行はおかしいと思
う。

説明して、質問を受けて、だけの場でいいのか。

話をする場、市長に声を伝える場がない。

時間がないからと切られると、意見がある人も発言を尻込みす
る。

この懇談会をやる意味は何なのか。

住民の声を拾うよう進行し、声を出しやすい場とすべき。

会場の席配置など、やっつけでやっていると感じてしまう。

主催者で改めて考えてほしい。

▼参加者

防災計画の改訂の中で、新庁舎移転時に「防災に強いまちづく
り」の話が出ている。

改定後の計画でどう反映されるか。

最近、パワハラニュースが多い。

時代とともにハラスメントの捉え方が変わっているので、当事

者はもちろん周りの人も、問題のある行為や言動に対して違うと言えるよう、時代に合った考え方を身につける必要がある
ので、先導に立って傾聴してほしい。

会場に机がなく、メモを取るのが大変なので、自分で机を出した。

会場の大きさや人数で難しいこともあると思うが、資料をじっくり読んでもらう意味でも配慮をしてほしい。

▼参加者

旧友愛荘が地域の避難所になっているが、通年で使えるようにならないか。また、簡易トイレも設置できないか。
熊本で10年経たないうちに地震が何度も起きた。
もしもの時のためにお願いしたい。

先日、上川大雪酒蔵の木桶ができた。
お酒が11月か12月ぐらいにできるかと思うが、一般市民はいつごろ購入できるようになる予定か。
また、市内居酒屋で酒粕を使った料理の新開発などあれば、掲載する予定はあるか。
12月のボーナスが入る時期などにPRできると良いと思う。

(企画総務部長)

旧友愛荘が季節営業であり、通年営業になれば以前のような一時避難所での使用ができるが、現状では難しい状況。
後日、担当から連絡をさせ、話を聞かせていただきたい。

(観光商工部長)

スケジュールについては、9月に仕込み、11月に完成、12月に販売予定。
観光協会が事務局になり、協議会を立ち上げ、日本酒を含めたお酒に合うような網走の食材とコラボとした取り組み等を進める予定。

▼参加者

先日の南コミセンの懇談会にも参加し、たくさんの資料があるので机を置けないか意見をしたが、出ておらず残念に思った。

南コミセンで、市役所職員の育児休暇の話が出たが、大事なことだと思う。

若いお母さんからも人口が減って、学校が減って、網走を出た人が戻ってきたいと思えるまちになっているのか。

網走の素晴らしい環境をフル活用して、若い人が住みやすいまちになるよう頑張してほしい。

(企画総務部長)

女性職員が増えており、育児休業も増えている。

札幌市役所でも中途退職が増え、都市部への転職が増えていること、農大出身で網走で就職しても親の介護で地元に帰る等のケースもある。

逆に都会から網走が良いとして来てくれる方もいる。

子育てについては、給食費無償化や高校生までの医療費無償化など他自治体と比べても相当の軽減をしていると思っているが、ご意見いただいたということはもっと頑張れということだと思うので、子育てがしやすいまちを目指していきたい。